

「ハングル」能力検定制験

- 日本語母語話者が「ハングル」を習得する段階を評価した日本独自の試験。通称「ハン検」。
- 年2回実施。準2級以下は出題が日本語。
- 入門・初級にあたる5・4級は比較的受かりやすい！ 逆に最上級1級は対訳問題もあり言葉のプロまでも対象とした試験のためネイティブも落ちるほどの難関。
- 出題範囲（発音・文法・語彙など）が公式ガイドで公表されているので、的を絞った対策が可能。

DATA

【試験の種類】準2級を含む5～1級までの6段階。級ごとに試験を受け、合格すればその級を取得できる。

【試験科目】筆記試験、書き取り、聞き取り試験。回答はマークシート方式（1級のみ記述式問題あり）。

【開催時期】6月と11月。

【試験会場】日本国内 35カ所。



2018年6月から試験実施方法と一部問題形式が変わります！

聞きとり試験から開始し、休憩時間はなくなります。

2017年第49回までの所要時間

1級	筆記全 60問 / 90分
	聞きとり全 20問 / 30分
2級	筆記全 60問 / 90分
	聞きとり全 20問 / 30分
準2級	筆記全 47問 / 90分
	聞きとり全 20問 / 30分
3級	筆記全 42問 / 60分
	聞きとり全 20問 / 30分
4級	筆記全 34問 / 60分
	聞きとり全 20問 / 30分
5級	筆記全 39問 / 60分
	聞きとり全 20問 / 30分

2018年第50回からの所要時間

1級	聞きとり全 20問 / 30分
	筆記全 50問 / 80分
2級	聞きとり全 20問 / 30分
	筆記全 50問 / 80分
準2級	聞きとり全 20問 / 30分
	筆記全 40問 / 60分
3級	聞きとり全 20問 / 30分
	筆記全 40問 / 60分
4級	聞きとり全 20問 / 30分
	筆記全 40問 / 60分
5級	聞きとり全 20問 / 30分
	筆記全 40問 / 60分

※上記の情報は 2017年12月27日現在のものです。

韓国語能力試験 (TOPIK)

- 韓国政府認定の試験で、世界各国で同時に実施。
- 日本でも年3回の実施に！（韓国では6回）
- 問題文はすべて韓国語。入門・初級の1・2級は難しめで、最上級の6級はハングル検定の上級に比べてさほど難関ではない。
- 韓国内での就業や留学には TOPIK の結果が使える！
- 日本でも単位として認定する大学が増えている。

DATA

【試験の種類】試験I（1級・2級）と試験II（3級～6級）。取得した点数により数字の級で評価。合格点に満たない場合は、不合格。

【試験科目】聴解、作文、読解の3科目。回答はマークシート中心。

【開催時期】4月、7月、10月。

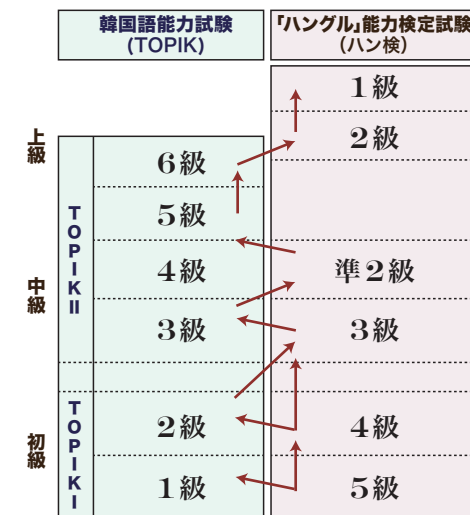
【試験会場】日本国内約32カ所および韓国、海外

【受験料】TOPIK I 3,500円、TOPIK II 4,000円。I+II 7,500円

※上記の情報は 2017年12月27日現在のものです。

レベル比較と受ける順

あくまでご参考程度にご覧ください



※アイケーブリッジ外語学院協力

試験スケジュール

下記は 2018年度日程。毎年ほぼ同時期に開催されます。

